

**2012年3月石原社長定例記者会見概要**

3月28日午後2時から、石原社長による定例記者会見が、放送センター20階役員大会議室で開かれました。概要は以下のとおりです。

**<編成関連>**

帯番組は好調を維持しているが、GP帯は金曜日を除いて今ひとつという状況だ。4月編成では課題の火曜日に新たな音楽番組、水曜日には深夜枠から昇格させるバラエティ、そして映画を編成した。かつてのように上位の局とそれ程大きな差がある訳ではないので、一日も早く上位争いに加われるよう一生懸命取り組んで参りたいと考えている。

また、この3月で1年半にわたった開局60周年の記念期間が終了する。様々なコンテンツで、60年分の感謝をお届けするという目的は、達成できたのではないかと思っている。開局61年目、この4月から、新たなキャンペーン「それ、TBSがやります。」を始める。目的は視聴者の声を良く聞いて、それをコンテンツ制作に活かしていくというごく当たり前のことだ。新たな一步を踏み出すにあたり、まずは原点に立ち返って始めたいと思っている。

**<営業関連>**

2011年度の業績見込みだが、ネットタイムについては、レギュラー番組は、ほぼ前年並みに推移したものの、前年に比べ大型単発が少なかったため、通期では僅かにマイナスとなる見込み。ローカルタイムは、震災の影響などでレギュラー番組が大幅なマイナスとなり、通期では95%程度となる見込みだ。一方スポットは、東京地区の下期の投下量が、106%程度と好調で、TBSも下期は2月以外の全ての月で前年実績をクリアできそう。通期でも前年度実績を上回る見込み。

2012年度上期の見通しは、ネットタイムは春の改編作業を終了し、レギュラーの売上は前年実績をやや上回る見通しだが、ローカルタイムについては、レギュラーセールスの回復には時間がかかりそう。一方スポットは、昨年4月、5月は震災の影響が大きく出たので、その反動で前年を大きく上回る出稿を見込んでいる。しかし国内外の経済情勢は依然先行き不透明な部分もあるので、今後状況を見極めながら機動的に対応して参りたい。

## <事業関連>

「インカ帝国展—マチュピチュ『発見』100年」が3月10日(土)、国立科学博物館で始まった。土・日には入場制限をするほどの盛況ぶりで、3月25日(日)までの14日間で、入場者数は約6万5千人と大変好調なスタートとなった。160点の展示物のほとんどが日本初公開だそうだが、中でも「眼球」の残る「ミイラ」など、5体の「ミイラ」が好評、さらに「マチュピチュ遺跡」を完全再現したコンテンツ「3Dスカイビューシアター」も大変な人気となっている。4月30日(月・祝)の朝10時から、インカ帝国をテーマにした特別番組も放送する。是非ともたくさんのお客様にご覧いただきたいと思う。

4月7日(土)に全国東宝系279館で「SPEC～天～」が公開となる。2010年秋に連続ドラマとして放送された『SPEC』は、多くの視聴者に支持され、TBSオンデマンドでも驚異的な売り上げを記録し、その後もファンの皆様から「続編」を望む声が多数寄せられていた。今回、映画に先立ち、4月1日(日)夜9時半からスペシャルドラマ『SPEC～翔～』を放送し、直後の4日(水)にはそのディレクターズカット版のBlu-ray・DVDを発売する。「SPEC」は、スペシャルドラマから、DVD、映画と展開していく。公式ホームページや関連のSNSは大変盛り上がっていると聞いており、期待している。

## <ラジオ関連> TBS R&C 加藤社長

2月はタイム・スポットともに健闘し、単月ではほぼ予算通りの利益を確保。3月タイム・スポットともに前年実績に届く見込みで、2011年度実績も前年比は減収減益ながら当初の予測を上回る利益で着地する見通し。2月の首都圏個人聴取率調査の結果TBSラジオは全体平均で1.3%を獲得し2001年8月以来64期連続のトップに。4月編成では、平日午後帯で始まる『たまむすび』と深夜0時の新番組『LINDA!』に大いに期待する。

本日をもってTBSテレビの取締役役に就任し、ラジオの方は4月1日をもって代表取締役社長を退任、取締役会長に就任する。2年9ヶ月の社長在任中、TBSラジオに温かいご支援・ご協力をいただいたすべての皆様方に心から感謝を申し上げる。

以上